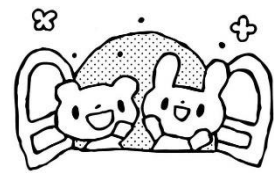


えんだより

キラキラ 5月



2025年5月1日

社会福祉法人尚徳福祉会

保土ヶ谷保育園

新入園、進級から一か月が経ち、子どもたちは保育園や保育者のことをその年齢なりに理解し、「保育園は安心できる場所」と少しずつ認識しはじめてくれたように思います。初めての環境、知らない大人の中で不安な様子だった子どもたちも、泣かずに給食を食べたり、笑顔を見せてくれたりするようになりました。保護者のみなさんも泣いている我が子を置いていくのは、かなりお辛かったことと思います。

保護者の方との「愛着関係」がしっかりできていたからこそ、子どもは不安な気持ちになります。保育園の保育者とも愛着関係をしっかり築けるよう、愛情たっぷりで保育をしていきたいと思います。

この「愛着関係」は子どもの「土台」となります。どんなに良い種をまいても、土が良くなければ、強い木は育ちません。この「土台」をしっかり作り、これから様々な経験を積むことで、たくさんの栄養を蓄え、立派な樹木へと成長していきます。

一緒に園庭で遊んでいるとき泣いているお友だちを見て、保育園のお兄さんお姉さんが優しく声を掛けてくれ、泣き止む姿が見られたり、お散歩に行く際に手を引いてもらい、安心して園外に出ることができたりと、保育園ならではの異年齢の関わりも自然に行っています。

小さい子を思いやる気持ちや、お兄さんお姉さんにあこがれる気持ちも、子どもたちの健やかな成長にとって大きな力になっていきます。

保育園での様々な経験を生かして、大きく大きく成長していけるよう、職員一同力を合わせて頑張っていきたいと思います。

保土ヶ谷保育園 園長 大日方 直美



＜保育園に通いだと風邪をひきやすくなる＞

同じ年頃の子どもの集団なので、かかりやすくなります。とくに初めて通いだと0歳児～2歳児は、鼻水、発熱などを頻繁に起こします。中耳炎を繰り返す子、鼻水がしょっちゅう出る子、熱を出しやすい子・・・こういう現象は「保育園症候群」と呼ばれていますが、同年代の子どもたちの中でうつし合いをしているので、ある程度仕方ないことです。2歳児を過ぎると繰り返さなくなりますので、安心してください。

吉村小児科医院長
日本小児科医会常任理事
内海 裕美先生



👧 今月の予定 👧

- 9日（金） 英語（幼児クラス）
- 10日（土） クラス懇談会
（全クラス）
- 14日（水） 避難訓練
- 16日（金） バス遠足（4・5歳児）
江ノ島水族館
- 20日（火） 全園児健康診断
- 28日（水） 幼児集会